

岐阜県福祉サービス第三者評価事業評価結果表

①第三者評価機関名

非特定営利活動法人 旅人とたいようの会

②事業者情報

名 称：社会福祉法人 白寿会 特別養護老人ホーム いぶき苑	種別：特別養護老人ホーム
代表者氏名：施設長 高木 正弘	定員（利用人数）： 100名
所 在 地：岐阜県不破郡垂井町岩手4538番地 Tel 0584 - 22 - 5211	

③総 評

◇特に評価の高い点

歴史ある施設であるが、ユニット化や施設内LAN整備、現在進行中のスプリンクラー・トイレ・ペアガラス、個浴等の浴室増設など、常に利用者の居住環境の改善のための改修を繰り返している。そのため、施設は古めかしさや不便さを感じさせない、落ち着いた機能的な空間をつくり出す工夫とアイデアが随所に見られている。

ISO9001の導入から5年目を迎え、サービスの継続的取り組み、業務の標準化、リスクマネジメントなど浸透してきており、組織的な管理体制が確立している。

ITの活用により利用者の状態、情報・スキルの共有などが瞬時に全職員に伝えることが出来る。接遇研修が重要なことと位置付け、全職員が、笑顔と挨拶、言葉使い等に取り組んでいる。事故マップ、苦情や意見の取り組みなど創意工夫が見られ、利用者、家族とのコミュニケーションを大切にしながら、多くの情報を発信するなど開かれた施設運営が行われている。

◇改善を求められる点

施設のISO9001の品質方針・品質目標は、理念と同様とすることで、理念を実現するため過程として、同内容を中長期計画に掲げ連動し取り組んでいる。

しかし、この展開の達成度合いが判定可能な目標に限られてしまうため、施設の理念がISO9001の品質方針を中心に置いた適合させるための理念になっている。

特に中長期計画は、事業計画のより広範な視点が必要となり、地域ニーズや将来予測、施設の現状など、あらゆる観点・要因から導き出す具体的な経営計画とするには、ISO9001の品質方針に添って又は縛られて進めるべきではない。立ち上がったばかりであるが、理事等で構成された将来展望検討委員会が更に充実して、中長期計画がISOのシステムと連動せず、新たに設けることが望まれる。

利用者は重度化と認知症高齢者が多いなど年々医療依存度や介護度が高くなって
いる。

利用者のより良い暮らしを実現するためには、より詳細な利用者の状態把握等が必
要とされ、適切なアセスメント方式の変更や充実が望まれる。又、アセスメントから
導き出された課題に対して、毎日のケアの中で実施したことを出来るだけ記録し、評
価、分析することが容易に導けるような介護記録方法の充実と検討が望まれる。

標準化と異なる一連のケアプランのプロセスの見直しと充実により、今後の個別ケ
アの向上と進捗に期待される。

④第三者評価結果に対する事業者のコメント

改善すべき事項として、安全面を中心とした介護から、利用者さまの立場に立った
総合理解と介護の実施にも配慮するよう求められました。

当施設は、本年度で開設29年目を迎えました。経験豊かな職員も多くいます。反
面、「井の中の蛙」の喩えのように、慣れ、あるいは自己満足の業務態勢の現象が出
てこないように戒めなければならないと考えています。

今後は、多様化する利用者さま、ご家族さまからの要望、変化する地域社会からの
要望に柔軟に対応できるよう、職員の状態把握力と対応能力の向上を図ってまいりま
す。

また、計画的な事業展開を行い、地域社会から信頼される施設となれるよう努めて
まいります。

⑤評価細目の第三者評価結果 (別添)